

「荒川ダム総合管理所渇水対策本部」を設置 ～節水にご協力をお願いします～

浦山ダム・滝沢ダムを管理する独立行政法人水資源機構荒川ダム総合管理所では、平成29年7月4日（火）9時、国土交通省荒川上流河川事務所渇水対策支部の設置と同時に「荒川ダム総合管理所渇水対策本部」を設置しました。

ダムでは、降雨で河川に豊富な水があるときに蓄え、雨が降らずに下流河川の流量が減少したとき、不足する水をダムから補給することで皆さんの生活を支えています。

荒川水系では、流域で降水量が少ない状態が続いており、河川の流量が減少しています。このため浦山ダム・滝沢ダムでは、必要な水の補給を続けており、貯水量が減少傾向にあります。

当管理所では、今後も降雨、河川の流況等の情報をきめ細かに把握するとともに関係機関と緊密に連携して、施設の適切な運用、水源情報の提供等に努めて参ります。

限られた水資源を有効に活用するため、引き続き節水へのご理解とご協力をお願いいたします。

※関連情報はホームページにて随時更新しています。

■水資源機構管理施設の渇水情報、渇水対策本部の設置状況

<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/suigen/kassui/index.html>

■浦山ダム・滝沢ダムに関する詳細情報

<http://www.water.go.jp/kanto/arakawa/realtime/index.html>

■荒川4ダムの貯水状況

<http://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo00698.html>



平成29年7月4日

独立行政法人 水資源機構
荒川ダム総合管理所

発表記者クラブ

秩父記者クラブ

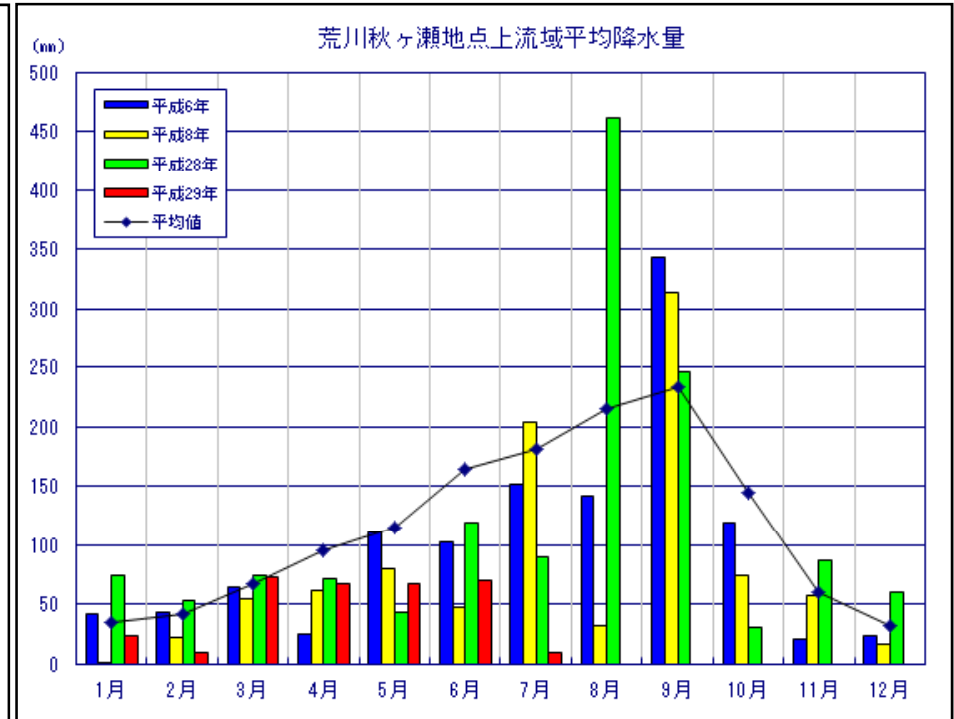
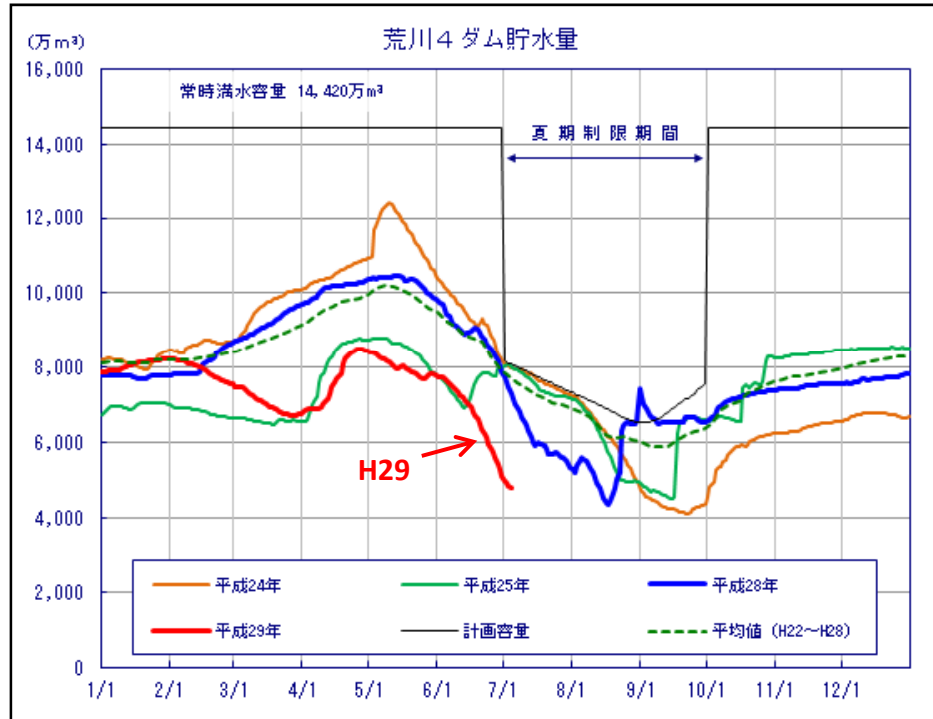
問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所 総務課長 おおいわ 大岩

住所：埼玉県秩父市荒川久那4041

電話：0494-23-1431

- ダムでは、降雨で河川に豊富な水があるときに蓄え、雨が降らず下流河川の流量が減少したときに不足する水をダムから補給することで皆さんの生活を支えています。
- 荒川水系では、流域で降水量が少ない状態が続いており、河川の流量が減少しています。このため浦山ダム・滝沢ダム等のダム群から必要な水の補給を続けており、貯水量が減少傾向にあります。



【荒川4ダム貯水量】

平成29年7月4日 0時現在

ダム名	有効容量 (万m3)	貯水量 (万m3)	貯水率 (%)	平均値に 対する割 合(%)
二瀬ダム	1,535	304	20	21
滝沢ダム	2,500	1,440	58	63
浦山ダム	3,300	2,289	69	70
荒川貯水池	760	761	100	104
4ダム合計	8,095	4,793	59	62

有効容量は夏期制限容量。貯水量は速報値。貯水率は有効容量に対する貯水量の割合。平均値とは、平成22年～28年の同日貯水量の平均値。

【秋ヶ瀬地点上流域降水量】

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成6年	42	42	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1191
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1414
平均値 (S40～H28)	35	42	68	96	115	164	182	215	234	145	61	32	1389
平成29年	24	10	73	67	67	70	10						321
平均値に 対する割 合(%)	67	24	107	70	58	43	5						

単位はmm。降水量は速報値。平成29年7月は3日までの値。